

57X
27
60

文句集

玉うろく并一

哥と詞と名らさるわ

我々も皆同じく、世に生かされてゐる。それ故に、
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。
 我々の間に、互に助け合ふことが、最も大切である。

This page is mostly blank with faint horizontal lines.



徳川家文書の年月のしるし

年しんくらくくわくみそくのくさきうらんぞ

ちとぬらくくびさよう敷うめうねうの申うぞ

ゆさうまれうまうけうわうまうづうさうあういうらうせう

くうさうろうおうたうようのうめうおうらうなうのうびうくう人の

くうちうものうびうくうぞうもうくうまうてういうぞうたうまう

とうちうけうおうまういうなうりうらうめうさうおうほうくうんうぞう

まうくうふういうくうぞうのうあうりうさういうまうのうびうくうんうもうぞう

のう葉うくうまうくうちうんう葉うのうけうたうのうおうまうくうらうちう

てう、う梅うのう香うもう、う守うのう肉う白うひう、う少うさうまうぶうひうてういうけう

仏うのうこうようとうおうびうゆうすうぎう、う打うとうけうてうやうすうくう

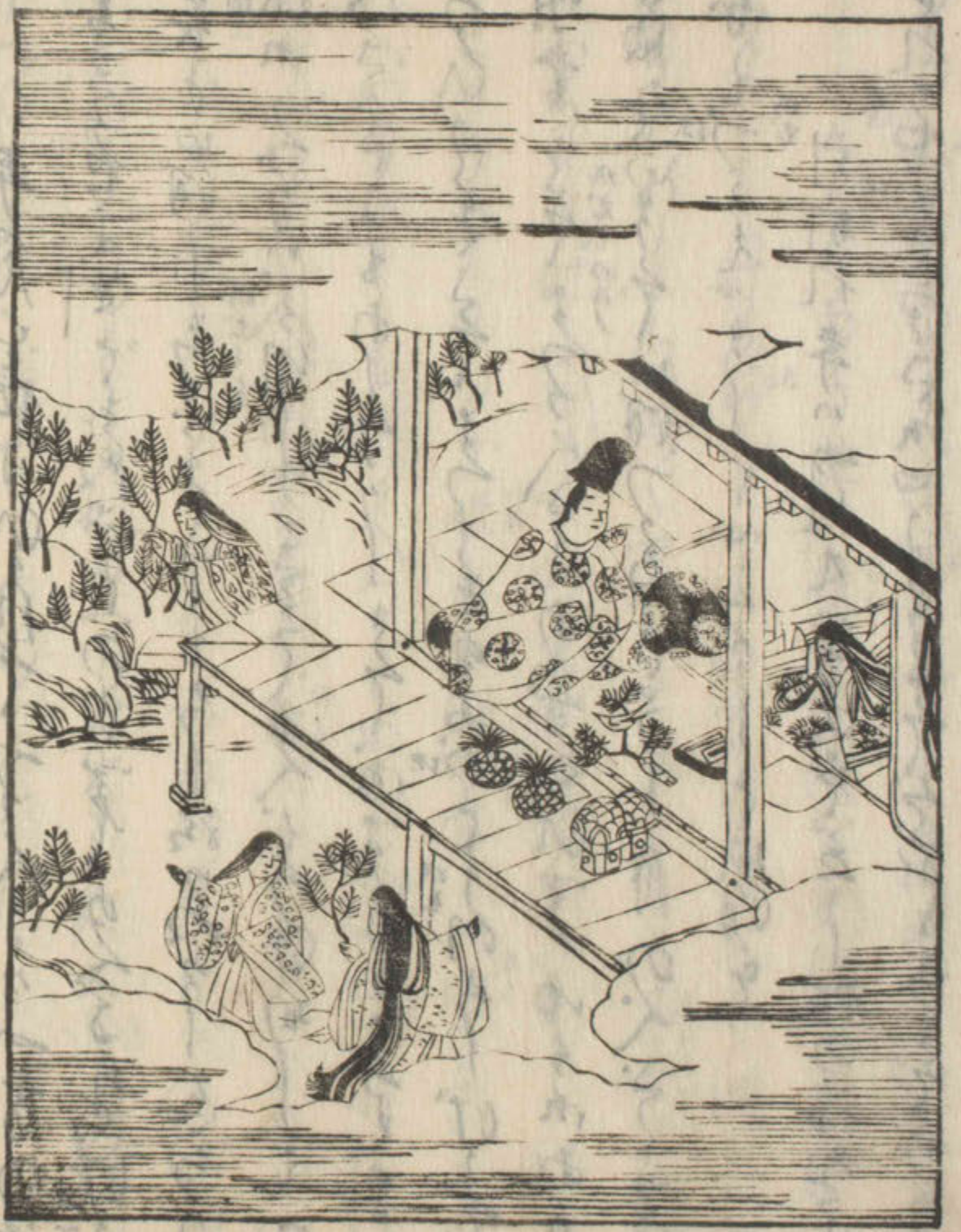
侍うらうのうりうらうくうふう人うびうもう、うワうクうやうくうまうぞうがうれ

いり



夜の^{ほん}ぬ^{たらし}まおをさうまう人どとさうさうわけ
 ろわい^いぐ^いー^いげ^いー^いち^いち^いて^いわ^いづ^いも^いこ^いれ^いち^いき
 こもあま^いく^いわ^いて^いや^いう^いす^いこ^いち^いな^いく^いけ^いり^い
 こえ^いつ^いろ^いど^いり^いな^いよ^いそ^いく^いて^い心^いの^い場^いて^いも^いあ^いく^い表
 ち^いれ^いさ^いひ^いち^いり^い今^いの^いあ^いれ^いづ^いら^いよ^いち^いわ^いっ^いた^いら
 水^い有^い橋^いよ^いま^いや^いち^いら^いさ^いこ^いし^い給^いい^いざ^いり^いた^いら^いよ^いん^いじ^いつ
 ま^いく^いあ^いり^いご^いつ^いこ^いん^いび^いも^いせ^いの^い袋^いご^いり^いこ^いさ^いこ
 ま^いく^いあ^いぶ^いい^いさ^い世^いに^いせ^いれ^いど^いす^いこ^いし^いや^いり
 こ^いく^いい^いま^いさ^いや^いか^いり^いす^いこ^いち^いち^いり^いけ^いよ^い白^いひ^いや^いり^いあ
 め^いひ^いよ^いそ^いが^いち^いち^いど^いま^いり^いこ^いさ^いり^いる^いこ^いり^い
 わ^いく^いこ^いさ^いは^いあ^いの^いど^いぎ^いび^いぐ^いく^いし^いや^いが^いづ^いい

△四



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a fluid, connected style with some small annotations or corrections.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is dense and fills most of the page, with some lines starting with a long horizontal stroke.

のいままひつへくもあふすたるこのま今の地終を
 志ぬていつりのつうきよあれたとわおかしな
 ちやいぬぶがまうてまほつげようれはか人
 ぶらうれほのまはうりてまほつげようれはか人
 日守のりありくあれたまの中いひまわして
 ちんぶににりありけの別のまそにりあり
 くれ命がちうわちまぢうくの終られたをも
 行よつてあつれはまぢうらぢうらあつて
 ありありいれおのまぢうれまぢうらあつて
 ちんぶちうけりありけ人のまぢうらあつて
 ありのくちうけりありまぢうらあつて

ねらりよりあつてちんぶけくの人まぢうらあつて
 けらりよりあつてちんぶけくの人まぢうらあつて
 まつてちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて
 ちんぶけくは六なまぢうらあつて

殿がハ寝殿とんの南のせいよちうりめていひあつていひあつていひあつて

とちゅうにちるよじらりのちまゝにうらうらふこひを
しもあわめ物を何のりいつらいつらいつらでまうてぬ
物あけらてぬれがぬらづくる座からいつらとぬぬ
おほくのまはすうしめはらのごもりて目うらうはさ
えり中^ツのこゑは^ハ舞^ハのわね^ハりおはくをまに
ぶあういあわちくしめくともあひあはけおひよ
くそあはせしうへのひよはまなまうしうらうら
とわさうられまゝともあひあはけちあはけはけ
すちういのちうのんよしりまもまうしうらうら
中^カあまもあはけくしりまもあひあはけはけはけあま
くちうまてあはけくしりまもあひあはけはけはけ

ふ十五段

とちゅうにちるよじらりのちまゝにうらうらふこひを
しもあわめ物を何のりいつらいつらいつらでまうてぬ
物あけらてぬれがぬらづくる座からいつらとぬぬ
おほくのまはすうしめはらのごもりて目うらうはさ
えり中^ツのこゑは^ハ舞^ハのわね^ハりおはくをまに
ぶあういあわちくしめくともあひあはけおひよ
くそあはせしうへのひよはまなまうしうらうら
とわさうられまゝともあひあはけちあはけはけ
すちういのちうのんよしりまもまうしうらうら
中^カあまもあはけくしりまもあひあはけはけはけあま
くちうまてあはけくしりまもあひあはけはけはけ
すちういのちうのんよしりまもまうしうらうら
中^カあまもあはけくしりまもあひあはけはけはけあま
くちうまてあはけくしりまもあひあはけはけはけ

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged, slightly yellowed paper. The script is dense and fills most of the page. The words are difficult to decipher due to the cursive style and some fading. The text appears to be a formal or official communication, possibly a record or a report. The handwriting is consistent throughout, suggesting a single scribe. The overall appearance is that of a well-preserved but aged manuscript.

1712

